

t02 素焼きでの切れ・割れ

欠点の外観上の特徴：

素焼き工程に素地が切れる。素地がばらばらに割れる。

検査・試験方法：

拡大鏡による目視観察。水分量測定。

欠点の原因：

昇温速度が速すぎて水蒸気爆発を起こした。

素焼き前の乾燥が不十分だった。

乾燥工程までに切れていた製品を素焼きした。

欠点の防止対策：

水は 100℃で蒸発するので、付着水が完全に蒸発するまではゆっくり昇温させる。200℃で温度を保持して、炉内の温度を均一にする。その後、350℃まではゆっくりと昇温させる。水蒸気爆発は 200℃前半から 300℃前半までで起こりやすい。

十分乾燥させてから素焼きする。水分が多い素地を素焼きすると収縮が大きく切れやすい。

その他：